

→ 国際交流員パトリック・ルムラーの

ドイツを語るパトリック



Vol.4

電車はいつ来る? っていうか電車は来るよね?

新幹線は素早く便利で、時間に正確で、日本のビジネスマンに欠かせない、ストレスフリーの移動手段である。旅行者の多くも新幹線を利用し、東京から京都まで2時間ちょっとしかかからないので、日帰りの観光も可能である。日本で当たり前だと思われる新幹線のメリットはドイツのICE（ドイツの高速列車で、Inter City Expressの略）にも当たり前なのだろうか。

去年の12月。私は仕事の面接のため、ドイツから日本に飛んだ。実家からフランクフルト空港までICEで1時間強。乗り換えは1回で、飛行機の出発時間より6時間も早く電車に乗った。ところが、途中で機関車は何らかの理由で壊れ、乗客のすべてが田舎の駅で電車を降りることになった。「代わりの電車がきますので少々お待ちください」と車掌に言われた。結局電車が来たのは数時間後で、ギリギリ飛行機に間に合った。「電車のトラブルで飛行機に間に合わない場合、DB社が（ドイツ鉄道）飛行機の再予約料金を負担しますか」と車掌に聞いたら、「電車は遅れることがございますので、十分時間に余裕をもって、空港に移動するのがお客さんの責任です」と答えられた。飛行機の出発時間より6時間も早く空港に向かうのが十分ではないかと思った。それより早く行くということは、電車は夜中に運行していないため、当日ではなく、前日に空港に移動しろということなのだろうか。

電車はたまに遅刻する。しかたがないと思った。帰国した後、再び電車に乗り、再挑戦した。今度、機関車には問題がなかったが、線路のトラブルのため、到着時間より5時間ぐらい遅く到着した。よく考えたら、日本からドイツのフランクフルトまで1万キロぐらいあるのに、飛行機で12時間しかかからなかったのに対して、フランクフルトから実家までの130キロを移動するのに結局6時間もかかってしまった。

駅に迎えにきてくれた友達の車に乗った瞬間に友達はDB社の話をしはじめた。友達はその数日前に出張でシュトゥットガルト市まで電車で行った。乗り換えは1回だった。朝の電車が30分遅れ、乗り換えに間に合わなかったが、友達は次の電車に乗ろうとしたところ、次の電車は何らかの理由で来なかった。帰りも電車が遅れ、友達は到着時間よりずいぶん遅く駅に着いたらしい。

こうした話をよく聞くので、ICEの特徴は時間に間に合わないことと言えるだろうか。仕事が入っていれば、電車ではなく、車を利用した方が確実だろう。しかも、車で行った方が電車より早い事もよくあり、ICEの最高時速は320キロと言っても、200キロ以上で走ることがほとんどない。順調に行けば、電車でもベルリンから実家までに7時間ぐらいかかるのに対して、車では6時間半で着くことも多い。

車でAからBに移動する人は移動の日にちを決め、mitfahrgelegenheit.deというネット上のサイトで車の登録ができる。そうして、車を持ってない人は同サイトにアクセスし、自分の行きたい場所まで移動する車を探し、車のブッキングができる。うまくいけば、車を登録した人は同行者を2~3人集められ、1人あたりには3~4千円の運賃がもらえる。頼りがいのないドイツの電車のため、こうしたサイトが大人気で、私自身も何回か利用し、ドイツ国内を他人と一緒に移動したことがある。ドイツ国内だとどこまで乗っても、最大4千円ぐらいでいける安く便利な移動手段である。

子ども達の 作品を 展示します

下野市の風景を題材として市内の小学生を対象に行われました「下野市国際交流図画コンクール」の優秀作品を下記のとおり展示します。これらの作品は、姉妹都市であるディーツヘルツタル市に寄贈され、役所や教会で展示される予定です。どうぞご来館ください。

会場 グリムの館 2階 ギャラリー

期間 9月27日(日)~10月5日(月)

グリムの館休館日: 9月29日(火) 30日(水)

時間 午前9時~午後5時

問い合わせ先

下野市国際交流協会事務局
(市役所生活安全課内 ☎40-5555)